

文 教 福 祉 常 任 委 員 会 記 録

令和5年12月12日（火）午前11時42分～午前11時49分（9階909会議室）

○出席委員（9名）

委 員 長	川又 康彦
副委員長	高木 直人
委 員	佐藤 勢
委 員	遠藤 幸一
委 員	佐々木 優
委 員	石原洋三郎
委 員	大平 洋人
委 員	穴戸 一照
委 員	半沢 正典

○欠席委員（なし）

○市長等部局出席者（なし）

○案 件

所管事務調査「認知症対策と家族支援に関する調査」

- 1 参考人招致について
- 2 その他

午前11時42分 開 議

（川又康彦委員長）ただいまから文教福祉常任委員会を開会します。

初めに、参考人招致を議題といたします。

正副委員長に一任いただいております地域包括支援センター職員への参考人招致の実施についてご報告いたします。同じくDDの参考人プロフィールの資料をご覧ください。参考人として、福島市地域包括支援センター連絡協議会会長の佐藤佐知子氏並びに福島市地域包括支援センター認知症部会の部会長、佐藤朋裕氏の2名を招致したいと考えております。このお二人につきましては、資料のプロフィールのほうをご覧くださいのとおり、それぞれ専門的な知見をお持ちでいらっしゃいまして、

佐藤佐知子氏については中央東地域包括支援センターに勤務、佐藤朋裕氏については清水西地域包括支援センターにおいてそれぞれプロフィールに記載のとおりのお仕事等をされていらっしゃる方になります。

こちらの2名に参考人を依頼するという事としてよろしいでしょうか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(川又康彦委員長) 次に、聴取内容ですけれども、地域包括ケアシステムにおける認知症患者、家族への対応を大きなテーマといたしまして、地域包括支援センターと関係機関の連携について、また地域における認知症支援の課題について等を聴取項目としたいと考えております。

また、当日の進め方ですけれども、説明を45分、質疑応答が45分と、その後委員の皆様と意見開陳を行いたいと考えております。

なお、詳細な部分につきましては、参考人と今後協議していきますが、聴取内容についてはおおむね以上の内容でよろしいでしょうか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(川又康彦委員長) それでは、次に参考人招致の日程調整について、12月下旬もしくは1月上旬としておりましたけれども、日程調整を参考人のお二方としたところ、候補日としましては1月12日の午前か1月15日の午前、午後いずれかの日程で開催したいと思っておりますが、皆様のご都合のほうはいかがでしょうか。

ここで、委員会を暫時休憩いたします。

午前11時45分 休 憩

午前11時46分 再 開

(川又康彦委員長) 委員会を再開いたします。

1月15日の午前10時10分から参考人招致のほうを行いたいと思いますので、日程の確保をお願いいたします。

それでは、地域包括支援センター職員の参考人招致については、令和6年1月15日の午前10時10分からいたします。

本日いただいたご意見を基に、正副委員長手元で地域包括支援センター職員の参考人招致実施要領(案)を作成して、次回の委員会で提示いたします。

続いて、前回の委員会で決定した東北福祉大学の加藤教授の参考人招致について、令和6年1月24日、参考人招致実施要領(案)を作成しましたので、フォルダー内にある資料のほうをご覧くださいと思います。よろしいですか。

日時については、先日決定させていただきましたとおり、令和6年1月24日水曜日午後2時10分からで、場所は市役所9階の909会議室を予定しています。目的は、認知症対策と家族支援に関する調査

に資するためです。出席依頼者は、東北福祉大学総合福祉学部福祉心理学科の加藤伸司教授です。認知症の家族介護者の支援と自治体に求められる役割についてのお話を伺いたいと思っております。当日の進め方は、参考人の意見開陳が45分、質疑が45分で、その後委員のみで意見開陳を行いたいと考えております。その他の項目についてはご提示の資料の記載のとおりになります。

説明は以上となりますが、このような内容、日程で参考人招致を進めさせていただいてよろしいでしょうか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(川又康彦委員長) では、そのように進めさせていただきます。

最後に、その他に移りますけれども、委員の皆様から何かございますか。ありませんか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

(川又康彦委員長) それでは、以上で本日の文教福祉常任委員会を終了いたします。

午前11時49分 散 会

文教福祉常任委員長

川 又 康 彦